

Office365 利用ガイド

(メールクライアント設定編)

平成 27 年 3 月版

新潟国際情報大学 情報センター

目次

1. デスクトップ版 Outlook.....	2
2. その他のメールクライアントの利用	5
2.1. 【設定例】 Windows Live メール	5
2.2. 【設定例】 MacOS X メールアプリ	9

1. デスクトップ版 Outlook

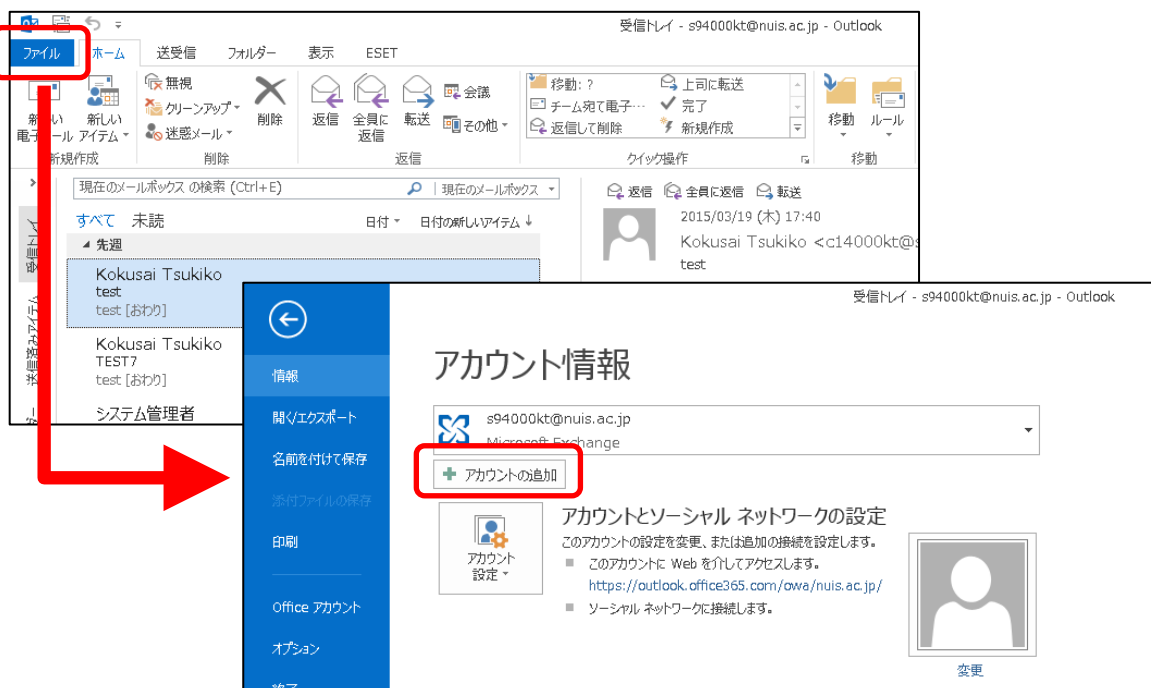
Microsoft Office に含まれるデスクトップ版 Outlook 2010/2013 を使用して Office 365 の Outlook Web App (OWA) ベースのメールにアクセスします。セットアップウィザードで、メールアドレスとパスワードを入力するだけで、セットアップできます。Office 365 のメール、予定表、連絡先は、ローカル PC に同期されるため、デスクトップ版 Outlook と OWA の両方を使っても問題ありません。POP3 でありがちな、「こっちで受信したら別の場所では受信できない」ということにはなりません。

デスクトップ版 Outlook で POP3 や IMAP を使ってメールアカウントにアクセスするようにセットアップすることもできますが、アカウントとサーバー接続が自動的に設定される自動検出機能を使うことをオススメします。POP3 または IMAP を使うと、予定表、連絡先、インプレースアーカイブ等、機能の多くは使用できず、メールのみになります。

1. Outlook 2010/2013 を初めて起動したときは、アカウントが登録されていないため“ようこそ”の画面が表示されます。[次へ]をクリックします。→ **手順 2 へ**



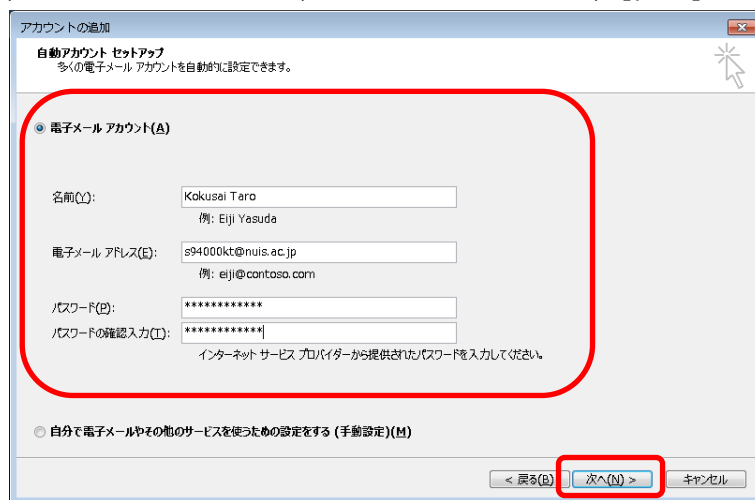
既にアカウントが登録されており、Outlook が起動した場合は、「ファイル」タブをクリックし、切り替わった画面から[アカウント追加]をクリックします。→ **手順 3 へ**



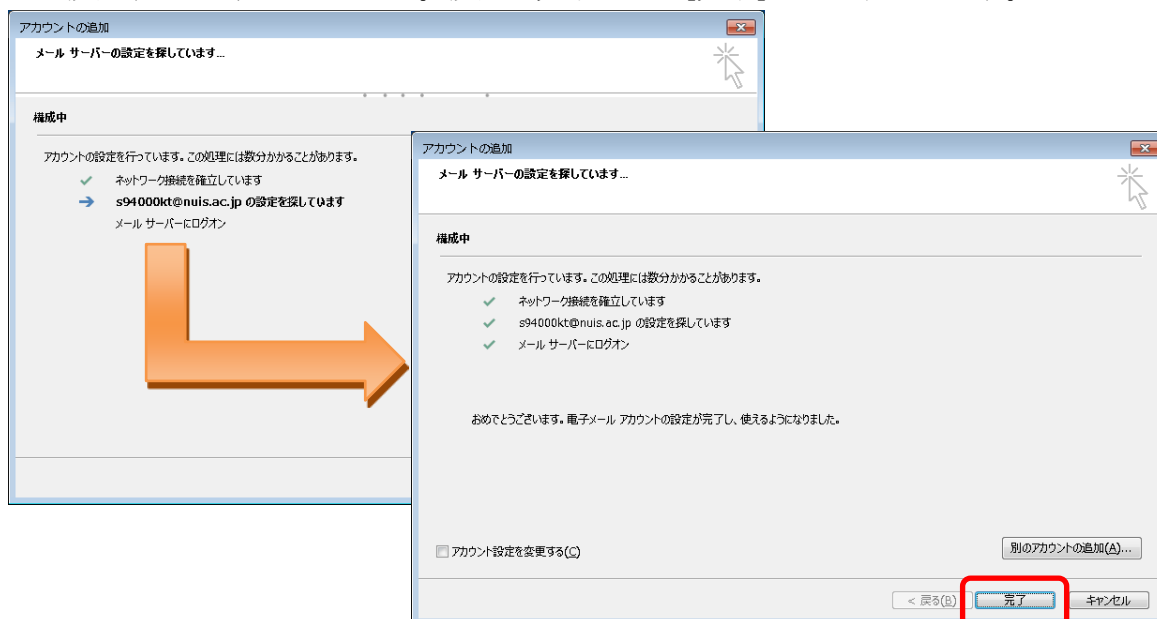
2. “電子メールアカウントの追加”の画面が表示されます。[はい]を選択したまま[次へ]をクリックします。



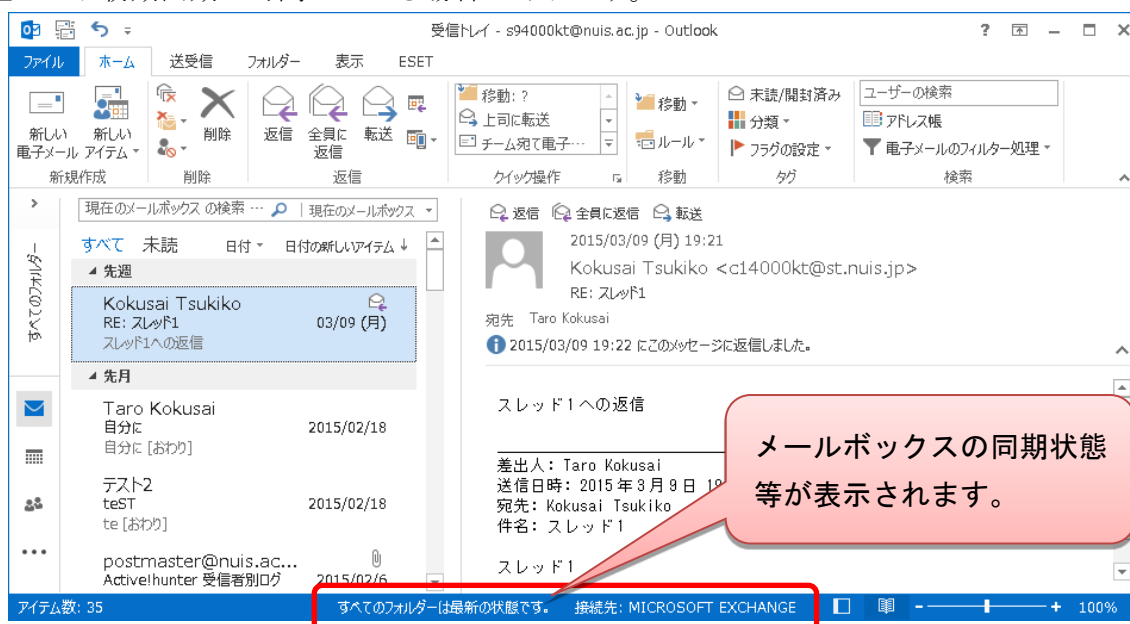
3. “自動アカウントセットアップ”の画面が表示されます。“電子メールアカウント”を選択したまま、名前、電子メールアドレス、パスワードを入力し、[次へ]をクリックします。



4. “メールサーバーの設定”の画面が表示され、自動的に設定が行われます。送受信サーバーを設定する必要はありません。設定が完了したら[完了]をクリックします。



5. 初期設定が完了すると、Outlook の再起動を要求される場合があります。その場合は起動し直してください。
6. Outlook が起動すると、Office 365 上のメールデータとの同期が開始されます。メールの量により初期同期に時間がかかる場合があります。



2. その他のメールクライアントの利用

Office365 を Outlook 以外のメールクライアントで利用する場合は、以下のように受信・送信のサーバー設定を行います。メール以外の機能(予定表、連絡先、インプレースアーカイブ等)は使用できません。

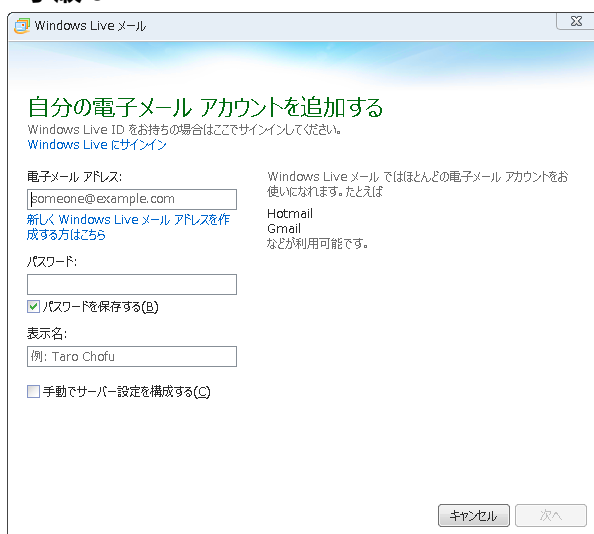
表 1 メールサーバー設定値

サーバー名	ポート	暗号化方法	
POP3	outlook.office365.com	995	SSL
IMAP4	outlook.office365.com	993	SSL
SMTP	smtp.office365.com	587	TLS

2.1. 【設定例】Windows Live メール

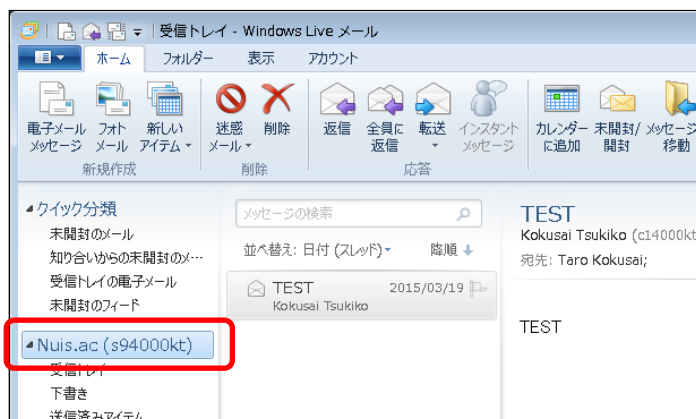
ここでは「Windows Live メール 2012」を使用して説明します。別のバージョンでは適宜読み替えてください。

1. Windows Live メールを起動します。
2. Windows Live メールを初めて起動すると、“自分の電子メールアカウントを追加する”の画面が表示されます。→ **手順 3 へ**

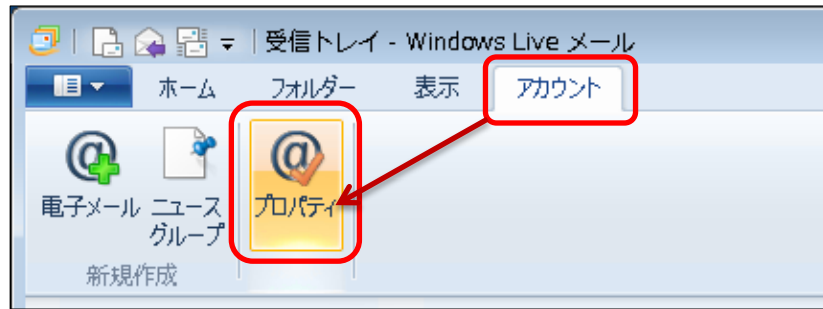


既に電子メールアカウントが登録されている場合は、Windows Live メールが起動します。

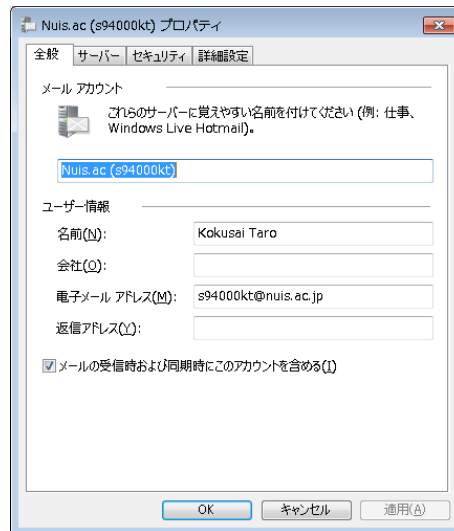
- ① 設定を変更するメールアカウントを選択します。



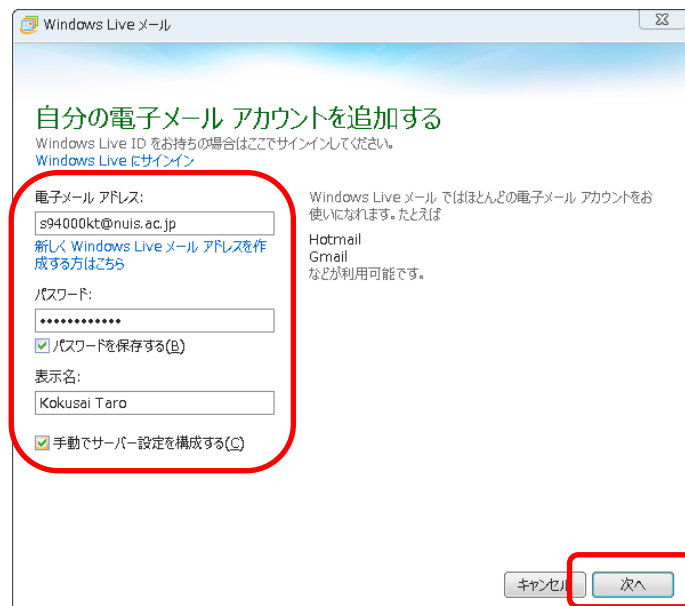
② [アカウント]タブのリボンから[プロパティ]をクリックします。



③ 選択したメールアカウントのプロパティダイアログが表示されます。→手順 6 へ



3. 自分の電子メールアカウントを追加する”の画面で必要な情報を入力、選択し、[次へ]をクリックします。



- 電子メールアドレス …… 自分のメールアドレスを入力します。
- パスワード …… 対応するパスワードを入力します。
- 表示名 …… 差出人名として表示される名前を入力します。
- 手動でサーバー設定を構成する …… チェックを入れます。

4. “サーバー設定を構成”の画面が表示されます。表 1 を参照し、必要な情報を入力して[次へ]

をクリックします。

Windows Live メール

サーバー設定を構成

電子メールサーバーの設定がわからない場合は、ISP またはネットワーク管理者に連絡してください。

受信サーバー情報	送信サーバー情報
サーバーの種類: POP	サーバーのアドレス: smtp.office365.com ポート: 587
サーバーのアドレス: outlook.office365.com ポート: 995	<input checked="" type="checkbox"/> セキュリティで保護された接続 (SSL) が必要(B) <input checked="" type="checkbox"/> 認証が必要(A)
<input checked="" type="checkbox"/> セキュリティで保護された接続 (SSL) が必要(B)	
次を使用して認証する: クリアテキスト	
ログオンユーザー名: s94000kt@nuis.ac.jp	

キャンセル 戻る **次へ**

【送信サーバーの情報】

設定項目	設定値
サーバーの種類	POP または IMAP
サーバーのアドレス	表 1 のとおり
ポート	表 1 のとおり
セキュリティで保護された接続 (SSL) が必要	チェックを入れる
次を使用して認証する	クリアテキスト
ログオンユーザー名	自分のメールアドレス

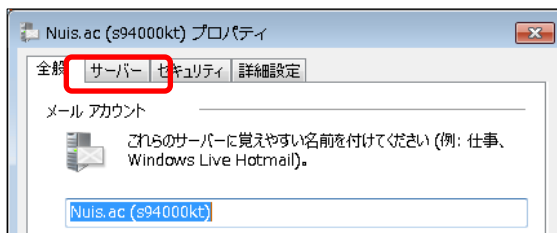
【受信サーバーの情報】

設定項目	設定値
サーバーのアドレス	表 1 のとおり
ポート	表 1 のとおり
セキュリティで保護された接続 (SSL) が必要	チェックを入れる
認証が必要	チェックを入れる

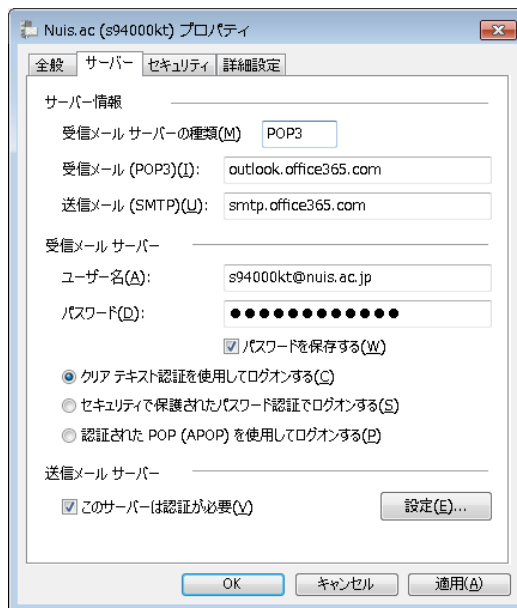
5. 設定完了の画面が表示されます。[完了]をクリックします。→**アカウント登録完了**



6. アカウントのプロパティダイアログの[サーバー]タブをクリックします。

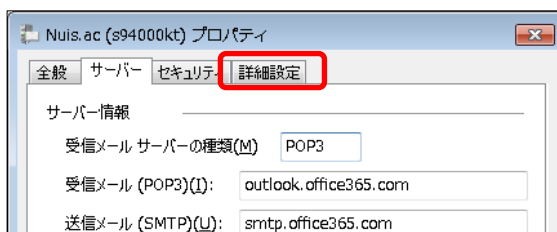


7. サーバータブの画面に切り替わります。サーバー情報を変更します。受信メールサーバーの種類は変更することができません。POP3 から IMAP、IMAP から POP3 に変更する場合は、新しいアカウントを作成する必要があります。

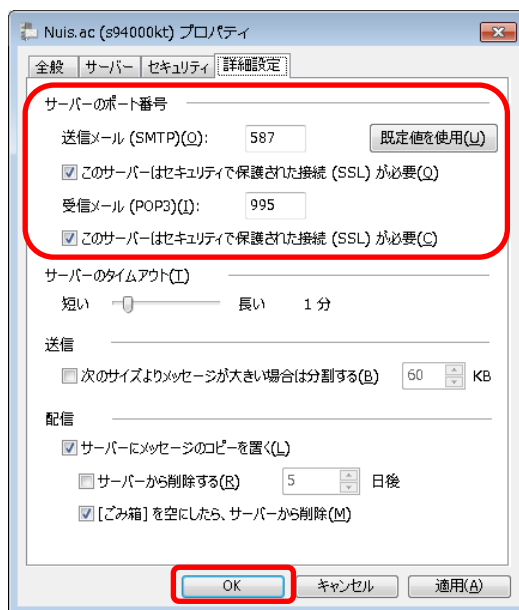


設定項目	設定値
サーバー情報 受信メール	表 1 のとおり
サーバー情報 送信メール	表 1 のとおり
受信メールサーバー ユーザー名	自分のメールアドレス
送信メールサーバー このサーバーは認証が必要	チェックを入れる

8. [詳細設定]タブをクリックします。



9. 詳細設定の画面が表示されます。サーバーのポート番号を変更し、セキュリティで保護された接続を有効にしてから[OK]をクリックします。→**アカウント設定変更完了**
 受信メールのポート番号は、「このサーバーはセキュリティで保護された接続(SSL)が必要」にチェックを入れると自動的に変わりますが、送信メールのポート番号はチェックを入れても変わらないため、表 1 のポート番号を入力します。



以上で Windows Live メール のアカウント新規追加・既存設定の変更は完了です。Windows Live メール の操作については、オンラインヘルプ等をご覧ください。

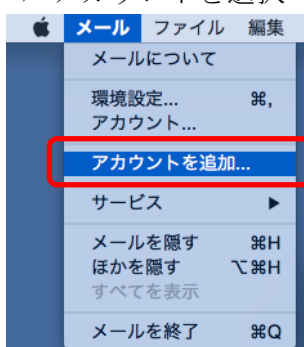
2.2. 【設定例】MacOS X メールアプリ

ここでは MacOS X Yosemite v10.10 に標準搭載されているメールアプリを使用して説明します。別のバージョンでは適宜読み替えてください。このメールアプリでは、既に登録されているメールアカウントの受信用メールサーバーの設定を変更することができません。新たに Exchange 用メールアカウントを作成しなければなりません。

1. メールアプリを起動します。
2. メールアカウントが登録されていない場合は、“追加するメールアカウントを選択”の画面が表示されます。



既にメールアカウントが登録されている場合は、[メール]メニューから[アカウントの追加]をクリックして“追加するメールアカウントを選択”の画面を表示します。



3. “追加するメールアカウントを選択”の画面で[Exchange]を選択して[続ける]をクリックします。



4. “Exchange アカウントの入力”の画面が表示されます。
名前、メールアドレス、パスワードを入力し、[続ける]をクリックします。

Exchange

名前: Kokusai Taro

メールアドレス: s94000kt@nuis.ac.jp

パスワード:

キャンセル 戻る 続ける

5. アカウントの概要が表示されます。
種類に「Exchange」、サーバアドレスに「outlook.office365.com」と表示されていることを確認し、[続ける]をクリックします。

Exchange

アカウントの概要

入力したメールアドレスのサーバアカウントが見つかりました。
次のアカウントがコンピュータに設定されます：

種類: Exchange

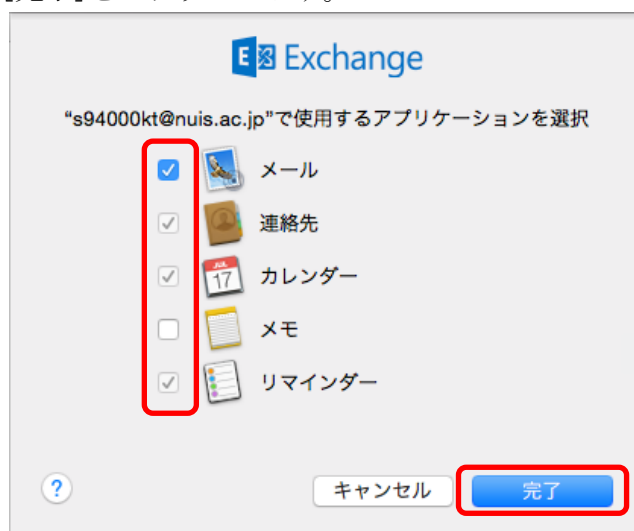
氏名: Taro Kokusai

メールアドレス: s94000kt@nuis.ac.jp

サーバアドレス: outlook.office365.com

キャンセル 戻る 続ける

6. “使用するアプリケーションの選択”の画面が表示されます。使用するアプリケーションにチェックを入れ、[完了]をクリックします。



以上でメールアプリの設定は完了です。メールアプリが起動すると、メール以外に予定表や連絡先のデータも同期されます(“使用するアプリケーションの選択”の画面で選択した場合)。

既に POP/IMAP のメールアカウントが設定されている場合は、このメールアカウントは削除しないでください。メールアカウントを削除すると、これまでに取得したメールも削除されてしまいます。

なお、既存のメールアカウントで取得済みのメールを、新しく作成した Exchange 用メールアカウントのメールボックスに移動すると、Office 365 で閲覧できるようになります。